

令和7年3月31日

情報セキュリティ監査実施報告書

この情報セキュリティ監査実施報告書は令和6年度に実施した戸田市情報セキュリティ監査支援業務委託のうち情報セキュリティ外部監査（以下「外部監査」という。）、情報セキュリティ内部監査（以下「内部監査」という。）及び情報セキュリティ自己点検（以下「自己点検」という。）の実施結果を報告するものである。

それぞれの結果は下記のとおりである。

記

1 外部監査及び内部監査における判定基準

外部監査及び内部監査では、監査項目ごとに下表で示す判定基準を基に監査対象のセキュリティ対策状況を判定した。

「監査の判定基準」

評価	成熟度判定	分類基準
適合 「○」	レベル4	レベル3の対策が継続的に実施されており、さらに積極的な改善活動がなされている。
	レベル3	情報セキュリティポリシー等の基準を満たしており、標準的で適切な状態である。
不適合 「×」	レベル2	情報セキュリティポリシー等の基準に対し、対策漏れがあり改善の余地がある。
	レベル1	情報セキュリティポリシー等の基準に対し、場当たり的で対策不足のため改善が必要である。
	レベル0	情報セキュリティポリシー等の基準に対し、必要な対策が実施されていない。又は認識されていない。

2 情報セキュリティ外部監査

監査中期計画に基づき、次の3つの手法で外部監査を行った。なお、監査対象は毎年変更して行

っている。

(1) サーバ機器等の技術的セキュリティ診断の結果

外部ネットワークに接続できないエリアで使用されているソフトウェアへのセキュリティ更新プログラムの未適用等が検出された。これに対し、各システムの所管課において改善方法が検討されていることを確認した。検出された課題については、可能な限り対応することが望まれるが、リスクが顕在化する条件に対して、対応することで生じる動作不具合及び改善にかかる費用等を総合的に検討して導き出された対策を実施することが望まれる。

(2) 市職員への標的型攻撃を想定したメール訓練の結果

巧妙化する標的型攻撃メールを疑似的に再現した訓練メールを送信した結果、不信メールとして扱うべきところを正規のメールと認識してしまい、一部の職員が開封した。

訓練後に行ったアンケートでは、不審メールを受信した際や不審な点に気付いた際の対応を再確認でき、教訓を得た訓練だったとの回答が得られた。

標的型攻撃メールは年々巧妙化し、一見して不審な点に気づきにくくなってきており、被害に至るケースも頻発していることから、継続した注意喚起と訓練の実施が望まれる。

(3) 情報資産のセキュリティ対策状況確認の結果

例年行ってきた情報の取扱いや情報システムの管理の適切性、個人情報保護法及び番号法で求められる対策について、規程や法令等を遵守できているか否かの確認を行った。確認結果は成熟度モデルを参考にして数値化し、4.00 点満点中 3.00 点以上を合格点とした。

その結果、確認した範囲の対策レベルの平均は、2.88 点であり、昨年度より若干向上した。昨年度と同様、確認内容に変更がない監査項目では平均で 0.1 点程度改善されたものの、確認内容を見直した項目においては、対応しきれていない事項が新たに検出されたことで、全体としては約半分の向上に留まった。

いずれの検出も直ちに情報漏えい等の事故に発展する様な問題ではないが、事故が発生した際に説明責任を果たせなくなる懸念があった。検出した課題については、全て改善の計画がなされ、かつその多くは今年度中に改善、又は改善予定であることを確認できた。事故の予防対策強化のため、今年度の課題及び改善方法を庁内に水平展開することを推奨する。

3 情報セキュリティ内部監査

(1) 内部監査の概要

戸田市の情報セキュリティ内部監査は、職員が監査員となって、外部監査の対象所属を除いた課所等（支所や保育園を含む）を対象に、平成 17 年度から 3 カ年で一巡する計画で実施されている。令和 5 年度からは 7 巡目が開始され、今年度も外部監査の一部と同じ項目について確認を行った。監査員への教育では、昨年同様に内部監査員の理解度向上を目的として事前学習時間を設け、かつ判定の精度を向上させるための具体的な検出内容の事例紹介を行った。確認結果は外部監査と同様に成熟度モデルを参考にして数値化し、4.00 点満点中 3.00 点以上を合格点とした。

(2) 内部監査の結果

確認した範囲の対策レベルの平均は 3.12 点（前年度 2.83 点）と昨年度より大きく向上した。検出数が減少し、レベル 4 判定が増加したことが平均の向上に寄与している。

4 情報セキュリティ自己点検

(1) 自己点検の概要

毎年、内部監査を補填する取り組みとして、市の全職員を対象に情報セキュリティ自己点検を実施し、集計した結果から情報セキュリティ対策の浸透状況を継続的に確認している。なお、点検内容は、毎年少しずつ変化させている。

(2) 自己点検の結果

市全体の遵守率は 95.2%（昨年度：94.1%）となり、昨年度より 1.1%向上した。新規に追加した項目は平均を下けているが、多くの項目が維持又は向上していることで、全体の遵守率を押し上げている。

今後も継続的な周知と点検を行っていくことで、セキュリティ対策についての認識が定着していくものとする。

以 上